

人権に関する県民意識調査の結果について

1 調査概要

- (1) 調査目的 徳島県における今後の人権施策の参考とするため県民意識調査を実施
(2) 調査対象者 徳島県内在住の満 18 歳以上の県民 1,500 人
(3) 調査期間 令和 6 年 7 月 5 日～令和 6 年 7 月 31 日
(4) 有効回答数 546 件（36.4%）

2 主な調査結果**【今の日本は人権が尊重されている社会だと思いますか。】**

- ・ そう思う（9.6%）
- ・ どちらかと言えばそう思う（42.5%）
- ・ どちらとも言えない（26.6%）
- ・ どちらかと言えばそう思わない（9.6%）
- ・ そう思わない（8.7%）
- ・ わからない（3.0%）

【関心のある人権問題】（上位 10 項目）

- 1 インターネット上の人権侵害（49.3%）
- 2 障がい者（48.4%）
- 3 働く人の人権（45.6%）
- 4 女性（35.8%）
- 5 子ども（35.0%）
- 6 高齢者（29.2%）
- 7 同和問題（部落差別）（23.7%）
- 8 災害に伴う人権侵害（20.9%）
- 9 L G B T Q などの性的マイノリティ（19.2%）
- 10 犯罪被害者やその家族（19.0%）

【人権問題の解決に必要なこと】（上位 5 項目）

- 1 学校内外の人権教育を充実する（46.2%）
- 2 被害者の救済・支援を充実する（40.5%）
- 3 啓発広報活動を推進する（36.8%）
- 3 関係機関が連携を図る（36.8%）
- 5 専門の相談機関・施設を充実する（32.1%）

【効果的な啓発広報活動】（上位 5 項目）

- 1 テレビ・ラジオ（39.4%）
- 2 SNS を含むインターネット（37.9%）
- 3 講演会、シンポジウム、研修会（33.0%）
- 4 多様な立場の人が参加できる交流会（30.5%）
- 5 新聞・雑誌（27.2%）